



**NAGANO**  
SDGs PROJECT

長野  
みんな  
いろいろな  
SDGs  
2020-2021  
SDGs 活動紹介BOOK

# SDGs とは

SDGsをそのまま日本語にすると「持続可能な開発目標」になります。2030年までに達成すべき目標を国連が17にまとめました。もう少し簡単に「ずっと続いていく、世の中をよくするための目標」と表現すると、わかりやすいかもしれません。

## 世界を変える一歩を、ここから。

私たちはSDGsで世界をよりよく変えていこうと考えています。

世界を変える、なんて聞くと、とても大変なことだと感じるかもしれません。でも、SDGsの「S」は「Sustainable=持続可能な」の頭文字。

だれもムリせず、だれにもムリさせず、アイデアや工夫で、暮らしや行動を変えて、世界の問題を解決することが理想です。

私たちは2019年に、長野から少しずつ世界を変えていくため、このプロジェクトを立ち上げました。

長野は、世界から見たら、ほんの小さな地域です。でも、美しい山々や、元気なお年寄り、おいしい農産物などここにしかないものがたくさんあります。長野だから思いつくこと、続けられることがきっとあるはず。

一緒に世界を変えてみませんか。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは国連が定めた世界規模で取り組む目標ですが、決して国や自治体だけが取り組む活動ではありません。毎日生活している私たちの行動一つひとつがSDGsにつながっているのです。ここでは「こんな行動もSDGs」という事例をご紹介します。

### 歯磨きの最中には、水道を止める!

歯磨きを使う水は、コップに汲みましょう。30秒間水を出しっぱなしにすると約6リットルの水を使いますが、コップに汲めば、約0.6リットル程度の水で済みます。1回約5リットルの節水×1億人 = すごい量の節水に!!



### 日本の「ジェンダー平等」の遅れを認識しよう

SDGsの目標のうち、日本が「世界最低レベル」の項目、それは「ジェンダー平等」です。女性をもっと自信をもって活躍できる社会を実現するために、心の中の「女のくせに」「女だから」という思考のクセをなくすよう心がけてみましょう。



### 「私はSDGsに興味があります!」と発信しよう

日本でも長野県でも世界に比べたらSDGsの知名度は「まだまだ」です。SDGsを知らない人たちに、「私はSDGsに興味があります!」と発信することで「SDGsってなに?」と周りの人に興味や関心を抱いてもらえば、それはゴールへの一歩になります。



ぜひ 今日から実践 してみてください!

# “NAGANO SDGs PROJECT” = “NSP”とは

NAGANO SDGs PROJECTは、行政や学校、企業、団体が一体になってSDGsを広め、進めていくために2019年にスタートしました。SDGsについて知り、考え、行動に移していただくために、様々な活動に取り組んでいます。



## 1

### SDGsを知ってもらう

長野県内で少しずつ広がりつつあるSDGs、しかしまだ認知度は低い状況です。SDGsを学ぶためにはまずは知ってもらうことが必要。新聞やWEBなどを通して、県内での取り組みを紹介し、認知を広げます。

#### ● 新聞 ↓



SDGsの活動を、県内の皆さんに紙面でご紹介

#### ● 公式WEBサイト →

県内のSDGs活動を集約しました

## 2

### SDGsについて学び、考えてもらう

長野県内の学校に教材を配布したり、外部講師による出前授業を行ったり、SDGsについて学ぶ機会を通して「自分たちに何ができるか」を皆さんに考えてもらいます。

#### ● 出前授業 ↓



南牧中学校



菅平中学校

## 3

### 行動に移してもらう

大事なのは学んだことや考えたことを行動に移すこと。そのためのプログラムとしてクラスやチームでSDGsに取り組むためのツール「みんなのSDGs宣言」を提供しています。

#### ● 「みんなのSDGs宣言」 ↓



宣言証  
(学校へ送付)

ウェブページ

今は小さな一歩かもしれませんが、その積み重ねがよりステキな世界に少しずつ近づいていきます。さあ、世界を変える一歩を、一緒に踏み出しましょう。

## 当プロジェクトの取り組みが評価され、各種表彰を受賞しました

「第4回ジャパンSDGsアワード」でSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞  
主催：SDGs推進本部(本部長：内閣総理大臣)

県内の教育現場を中心に、SDGsについて、学び、考え、行動する機会を提供する活動に取り組む、その活動が評価されました。県内の企業・団体としては初めての受賞になります。

「第40回新聞広告賞」の新聞社企画・マーケティング部門の奨励賞を受賞  
主催：日本新聞協会

官民が一体となり、協賛企業・団体を募り、県内の様々な活動を紙面で紹介するとともにイベントやセミナー開催など、県民に向けてSDGsの啓発に努めたことが地域の課題解決に貢献した活動であると高く評価されました。

プロジェクトの詳細は公式WEBサイトをCHECK!

[www.naganosdgs.jp](http://www.naganosdgs.jp)

長野SDGsプロジェクト | 検索 🔍

## 2020年度の活動

2020年度は授業、セミナーに加え、数々の新企画も実施しました。

### 学校向け出前授業

講師の先生が長野県内の学校に出かけて、SDGsの出前授業を行いました。



### 先生向けSDGsセミナー

学校の先生向けに3回シリーズで、目標達成の為に教育でできることを学ぶワークショップを実施しました。



### CHANGE for GIRLS from NAGANO 2020

「国際ガールズ・デー」に合わせて開催、女の子の権利について考えました。



### 企業向けSDGsセミナー

一般の方々からも参加者を募り、SDGsに関する勉強会をオンラインで開催しました。

### メールマガジン配信

SDGsに関するニュースやプロジェクトの最新情報などを月2回発信しています。

### お家でできるSDGsコンテンツ

自宅で過ごす時間を使って気軽にできるSDGsプログラムを開発しました。



### SDGsポスター、自由研究募集

SDGsをテーマに作品を募集、集まった作品はWEB、冊子に掲載しました。



### 新聞紙面で活動を紹介

信濃毎日新聞1ページ広告を定期的に掲載。広く活動を紹介しています。



NAGANO SDGs PROJECTは2021年度もSDGsを皆さんに伝えていきます。持続可能な世界を実現するために、今できることをやってみましょう!

も	● はじめに	1	● 伊那市立図書館	15
く	● SDGsとは/だれでもできるSDGs	2	● セイコーエプソン株式会社	16
じ	● NAGANO SDGs PROJECTとは	3	● みんなで作ろう! SDGsポスター	17
	● 2020年度の活動	4	● この夏休みはみんなでSDGs! 自由研究	18
	● 長野県佐久平総合技術高校	5 - 6	● 学校法人 文化長野学園 文化学園長野中学校	19 - 20
	● ミヤマ株式会社	7	● まつもと子ども未来委員会	21
	● KID'S DAY	8	● ながの環境エネルギーセンター	22
	● 茅野市立 永明中学校	9 - 10	● 出前授業アンケート/授業リスト	23 - 24
	● 不二越機械工業株式会社	11	● NSPオリジナルコンテンツ	25
	● みんなのSDGs宣言2020	12	● 企業スポンサー	26
	● 信州大学教育学部附属長野中学校	13 - 14		



# 長野県佐久平総合技術高校

浅間キャンパス/佐久市岩村田991 TEL: 0267-67-4010 白田キャンパス/佐久市白田751 TEL: 0267-82-2035



## 地域の課題を見つけ、 解決する力を培う実践授業

「地産地消レシピコンテスト」や「全国高校生パンコンテスト」にも応募する予定の「酒かすメロンパン」

1次発酵、2次発酵を経て、焼き上がってみてはじめて結果がわかります



少し配合が違っただけで味も食感も変わってしまう。何度も試作と試食を重ねます



**地** 域産業の明日を担う人材を育成するため、北佐久農業高校、白田高校、岩村田高校工業科が平成27年に再編統合し誕生した、佐久平総合技術高校。同校には毎週3単位、自分たちが発見した課題を解決するために、自分たちで計画して実行する「課題研究」という授業があります。「明日の佐久平をつくる」というテーマのもと、2～3人のグループでそれぞれ研究を進めています。

**食** 農クリエイト科3年の市川さんと桜井さんは昨年、地元の酒造会社で「酒かす」が年間2<sup>トン</sup>も廃棄されることを

同様に、酒かすを使ってチーズケーキをつくるグループも



聞いて驚きました。そこで「捨てちゃうのはもったいない。酒かすで何か作れないか」と思い立ち、食べやすいようメロンパンに練り込むことを考えました。米づくりが盛んな佐久市が力を入れている「米粉」も使い、少しずつ配合を変えて試作を重ねながら、秋に開催される農産物の販売会に向けて完成を目指します。最終的には地元のお菓子屋さんやパン屋さんにレシピを公開して「佐久の名物」にするのがゴールだとか。酒かすはほんの5%の配合の違いで仕上がりの風味が変わってしまうし、米粉は小麦粉と違って膨らませるのが難しいとのこと、完成にはもうちょっと時間がかかるようです。

**電** 気情報科3年の岩井さん・三井さん・荻原さんの3人は、昨年の台風19号で停電を経験したことから、災害時の「非常用電源」に着目し、太陽光で発電する電源装置の開発に取り組んでいます。材料は、校内で拾ってきたもののリサイクル。立派な太陽光パネルは過去に先輩が電動リヤカーを製作した際に使ったものだとか。今年は新型コロナウイルスの影響で2カ月休校になり、6月ようやく授業が再開されるも、梅雨が長く晴れた日が少なかったため、実験できる日が少なくて困ったそうです。目指すは「照明やパソコンが一晩使えるほどの電源にしたい」と、3人は力強く抱負を語っていました。

**食** 料マネジメント科3年の吉澤さんは、「国際研究部」に所属。昨年「信州つばさプロジェクト」のSDGs研修プログラムで行った台湾で、日本との違いに大きな刺激を受けたそうです。吉澤さんが注目しているのは「ジェンダー平等」。台湾で学んだことを昨年、県の英語弁論大会でスピーチし、優秀賞を受賞しました。今年はSDGsについて書いた意見文が校内審査を通過して、県大会へ行くことになったそうです。まだ校内でも知らない人が多いというSDGsについて、「世界を変えるために、広げていかないといけない」と、ポスターを作って掲示することも計画中。将来は農業をベースに、教育者として国際的に活躍したいと夢を抱いています。

**彼** らのように地域の現状と地球の未来を真剣に考え、自ら動いてくれる若者が一人でも多く誕生すれば、世界の課題を解決する日は近くなるに違いありません。

晴れ間をぬってベランダで非常用電源の実験。太陽が出ればデータもしっかり記録できます



展示してあるSDGsの本について図書館の先生と語る吉澤さん







# ミヤマ株式会社

長野市稲里1-5-3 TEL:026-285-4166 (大代表)



廃アンモニアから水素を取り出す装置。技術開発には5年ほどかかったそうです

## 世の中になかった技術を生み出し、環境問題を解決する総合環境企業

「本一の総合環境企業」を目指すミヤマ株式会社。企業の生産活動で排出される廃棄物に含まれる有害物質を、適切に処理して廃棄物を「減らす」だけでなく、素材を再生したり、さらにそこからエネルギーを創り出すなど、新しい環境技術の開発に力を入れています。そのひとつが、汚染された土壌を浄化処理する機能を1台の車両に搭載した「移動工場」。これまで汚染土壌は処理工場まで何台ものトラックに積んで運び出す必要がありましたが、現地で処理する事で、現場の汚染拡大を防ぎ、移動時に排出されるCO<sub>2</sub>を大幅に削減することができます。

移動コストも排出CO<sub>2</sub>も大幅削減、効率的に汚染土壌を処理できる「移動工場」



水素を原料にすることでCO<sub>2</sub>排出のない発電が可能



さらに注目なのが、資源のない日本ではまさに画期的な技術です。地球環境保全のためにCO<sub>2</sub>排出量の削減が強く叫ばれていますが、炭素(=C)を一切含まないエネルギーが水素(=H)。この水素を、通常捨ててしまう「廃棄物」から取り出すのです。「今はまだ一部の物質からですが、今後はもっといろんなものから水素を作れるよう研究していきたい」と語る環境整備事業部の知念卓也さん。現在は実証研究として、高さ2mほどの燃料電池で3.5kWを発電。工場内に設置することで「エネルギーの地産地消」を可能にしています。また、水素にCO<sub>2</sub>を固定化してメタン(=CH<sub>4</sub>)を生成することで、CO<sub>2</sub>を削減するという実験も進んでいます。「カーボンフリーな水素社会の実現に向けた技術を世の中に発信したい」未来への挑戦が続きます。



# KID'S DAY

https://kidsday.jp/ MAIL: info@kidsday.jp



「豊かな体験」「様々な出会い」「最高に楽しい時間」に満ちた2日間

## 子どもの可能性をひらく「パパママメイド」の体験学習イベント

大 町市の自然の中、カヌーやSUP、野球にダンス、料理、工作など30以上の講座から選び体験できるKID'S DAY summer(小学生対象)。その日開催する講座はイベント当日に発表し、子ども自身が選びます。事前に親と相談して選ぶのではなく、子どもの「やってみたい」気持ちを尊重するためです。希望が叶わなかった子ども、たまたま受けた講座が「楽しかった!」と新しい発見につながることも。キッズリーダーとして中学生ボランティアも活躍しています。「普段の環境や習い事は親の目線が入りがち。そんな日常から離れ、子ども自身が考えたり挑戦することで、世界はぐっと広がると思うんです!」会長の中村真由美さんは、小学生の頃に参加したイギリスでのサマーキャンプが忘れられず、「日本の子どもたちにも同じ経験を!」と夢を描いてきました。

会長の中村さん(前列左)をはじめ実行委員は全員、子を持つ親



「体験」を通しての学び、「人」からの学びを大切に、子どもも大人も思い切り楽しめます!

6 年前、中村さんに賛同したパパママ達が実行委員や得意分野の講師となり、参加者50人で始まった同イベント。地元の協力も得ながら、2019年には地元大町市だけでなく県内外から200名が参加するほどに成長しました。リピーターも多く、チケット発売後すぐに売り切れる人気ぶりです。地域資源の活用や地方でのイベント開催などさまざまな可能性が広がるKID'S DAY。2020年は中止になりましたが、新しいイベントを計画中。そのパワーの源は「子どもたちに輝く未来にはばたいて欲しい」という大人たちの願いです。



※写真は2019年





# 茅野市立 永明中学校

長野県茅野市塚原一丁目10番6号 TEL: 0266-72-2364



生徒主体の活動でSDGsのための  
学びを深め、広げていく

永明中発!  
オリジナル  
カードゲーム  
「生徒会 de SDGs」  
の様子

校内に掲示されている  
生徒たちによるSDGsの取り組み



**八** ケ岳連峰や蓼科山など雄大な山々に抱かれた茅野市立永明中学校。今年度は授業や生徒会など日々の活動の中に、SDGsを積極的に取り入れてきました。各教科で「持続可能な社会」の考え方について学んだり、総合的な学習の時間にゲームを取り入れながらSDGsへの理解を深めるなかで、生徒たちは自分と社会とのつながりに気づき、意識を高めてきました。

**先** 生方の意気込みも熱く、なんと永明中学オリジナルのカードゲーム「生徒会 de SDGs」を制作。7月には3年3部(組)の生徒が挑戦しました。3~4人ずつの10チームに分かれ、それぞれが「生徒会本部」

生徒会 de SDGs のカード



ゲーム後「皆で同じ目標に向かうこと、協力することの大切さがわかった」という声が多く聞かれました



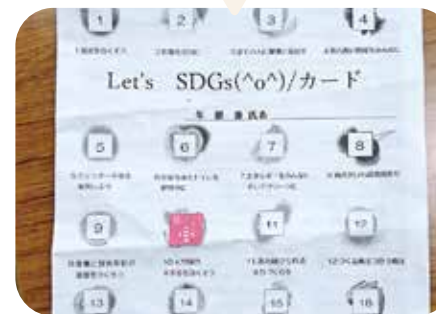
「生活」「園芸」などの委員会の役となって日々の当番活動やイベントなどを実施しながら、「学力・環境・人権・健康」という評価数値を全て目標まで上げることを目指すゲームです。各委員会にはイベントが書かれたカードが配布され、実施するにはさまざまな他のカードが必要です。最初はチームの中だけで動いていた生徒たちですが、他のチームとカードを交換し合ったり、「〇〇のカード持ってるチームない?」と声を掛け合うなど連携プレーが発揮され、見事に目標を達成することができました。

**生** 徒会の活動では、自分たちの日々の活動が世界への貢献につながるということを生徒全員が意識できるよう、各委員会の活動の一つひとつをSDGsの目標に紐づけて計画・実行しています。例えば、福祉ボランティア委員会の「赤い羽根共同募金活動」は、1の【貧困をなくそう】。そこには、「福祉に関わることで『支え合っている』意識を向上させたい」という委員会の思いが込められています。園芸委員会の「二十日大根を育てよう活動」は、2の【飢餓をゼロに】。「植物を育てる楽しさを通し、食べ物や作ってくれる人に感謝の気持ちを持ってほしい」という思いが込められています。

**10** 月に開催された文化祭「銀杏祭<sup>いちよう</sup>」では、SDGsをテーマとした生徒会企画を実施。17の目標ごとに全校生徒が楽しみながらSDGsを体験・体感できるよう、各委員会がブースの企画から運営まで行いました。「女装・男装で記念撮影【5.ジェンダー平等を実現しよう】」ブースでは、各家庭から寄付してもらった男性も女性ものの服がずらり。男子がスカートやワンピースに挑戦する姿もあり、皆さん笑顔でポーズを決めて写真を撮っていました。「世界の服で記念撮影【10.人や国の不平等をなくそう】」ブースでは、JICAの協力を得てアフリカやモロッコ、インドやパキスタンなどの衣装を体験。他に水のろ過体験、世界の貧困や食糧危機に関するクイズに答えるコーナー、今年中止となった地元夏祭り「茅野どんぱん」を踊ろうというコーナーなど、世界にも地域にも目を向けられるバラエティ豊かな構成でした。生徒会長の春日陽翔さんがシンデレラに扮して校内のあちこちを巡り、出会った生徒に電気についてのクイズを出題するパフォーマンスが大好評。「道具集めなど準備が大変だったけれど、みんな楽しんでくれてよかった。SDGsを通して、世界についてもっとみんなと考えていきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

**生** 徒主体の活動を重視し、先生も生徒も真剣にSDGsに取り組む永明中学。ここで学んだことは、持続可能な未来に向けた大切な一歩となることでしょう。

一人一人この台紙を手に各ブースをまわり、シールを集めました



銀杏祭・生徒会のメンバー（下段中央が生徒会長の春日さん）。「17の目標のうちどれか一つでも印象に残ってくれたら」







# 不二越機械工業株式会社

長野市松代町清野1650 TEL: 026-261-2000 (代表)



水銀灯をLEDに交換した工場

## これまでやってきたことの延長に 気負わず、自然体で取り組むSDGs

**不** 二越機械工業(株)は「長野県SDGs推進企業登録制度」の第1期登録企業です。現在は第5期、約480社が登録されている中、県内でSDGsに取り組む企業としては先駆者です。同社は以前から休憩時には消灯を徹底したり、地域のゴミ拾いや産業廃棄物のリサイクル推進など、環境や地域のことを普通に意識し、活動してきました。「最近それらがSDGsにつながるのだということがわかり、継続しているだけです」と穏やかに語る、経営管理部長の小林秀樹さん。環境負荷低減のために、社内の設備についても更新を重ねてきました。暖房を灯油から電力に変更したり、工場内の照明を水銀灯からLEDに変更することで年間15~16トンのCO<sub>2</sub>削減に。空調も少しずつ新しいものに交換するなど、2030年には40%程度のCO<sub>2</sub>削減が目標です(2018年比)。企業規模が大きいだけに、削減のレベルも大きなものです。

**さ** らに同社は、役職定年の廃止や60歳定年の見直しを検討するなど、雇用環境の改善にも積極的。経済産業省がすすめる「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」にも申請の準備をしており、職場環境や社員の健康状態についても配慮し、常に改善に取り組んでいます。また、社訓の中に「社員に対する責任」という言葉があります。「利益はできるだけ社員に還元し、社員の健康や働きがいを大切に」…すべての取り組みに、企業としての責任感と思いやりの深さを感じます。



5月30日(ゴミゼロの日)には、地域のゴミを拾う活動を長年継続しています



同社主力製品のポリシングマシン。省エネタイプのモーターやインバーターなどを使用し、お客様の消費電力の削減や新機能を追加し、生産性の10%向上に貢献しています



ゴミをへらして、生き物も人間も住みやすい地球にしよう

上田市立南小学校  
4年2組

学校から出るゴミを減らしたり、水の使いすぎを止めたり、給食の食べ残しを減らしたり、児童会役員である6年生だからこそできることを考える。

上田市立南小学校  
6学年

開発途上国の「困る」をなくすために活動しよう

富士見町立富士見中学校  
1年SDGs講座

文中発「脱レジ袋」! プロジェクト  
新聞紙エコバッグ大作戦

文化学園長野中学校

SDGsの視点から「持続可能」な生徒会活動を推進しよう!

茅野市立永明中学校  
令和2年度生徒会

## みんなのSDGs宣言

for EDUCATION 2020

SDGsについて自分たちができていることを生徒の皆さんが宣言として上げていただきました。

ここにあげた宣言はごく一部、今シーズンも長野県内のあちこちでSDGsに向けた活動が行われています。



宣言証をお贈りしました

「みんなのSDGs宣言」は公式WEBサイトでご覧いただけます。詳しい活動内容も記載していますので、ぜひ見てください。

長野SDGsプロジェクト | 検索

環境第一~身近なことから恩返し~

安曇野市立三郷中学校  
1年1組

長野市の医療の現状を知ってもらうために発信しよう

信州大学教育学部  
附属長野中学校  
2年C組2班

長野市の改善点を見つけ発信し、よりよい町になるように貢献しよう!

信州大学教育学部  
附属長野中学校  
2年C組6班

世界の厳しい教育環境を伝え、身近な協力が助けになることを発信しよう。

信州大学教育学部  
附属長野中学校  
2年C組8班

紛争・戦争の現状を伝えよう

長野市立長野中学校  
2年A組5班

男女間の壁をこわし、パートナーシップを深めよう!

長野市立長野中学校  
2年B組1班

ひぼうちゅうしょう 誹謗中傷・いじめを止めよう。

長野市立長野中学校  
2年B組3班

古着に新たな命を

長野市立東部中学校  
3年C&A

みんなに元気を!! みんなに笑顔を!!

長野市立東部中学校  
3年  
喫茶店 Café 屋さん

豊かな地域社会の創造~環境保全と創造・福祉・産業振興~

下高井農林高等学校

長野県の女性の社会進出

佐久長聖高等学校  
10-B チーム

災害から命を守るためには

佐久長聖高等学校  
9B チーム

岩村田商店街の活性化

佐久長聖高等学校  
1A 岩村田商店街を活性化したい! チーム

太陽光で発電する電源装置の開発!

佐久平総合技術高等学校  
電気情報科

高校生チャレンジショップ部による商店街に賑わいを!

佐久平総合技術高等学校  
チャレンジショップ部



# 信州大学教育学部附属長野中学校

長野市大字南堀 109 TEL: 026-243-0633



学年から全校、そして学校の外へー。  
SDGsを「発信」する

グループで協力し、  
学校外に向けた  
SDGsの発信に  
取り組みます

各自のアイデアを  
グループのメンバーに向けてプレゼン



**中** 学1年時の総合的な学習の授業で「SDGs」に出  
合った、信州大学附属長野中学校2年C組の生  
徒たち。グループに分かれて日本や世界の実情を学び、  
調べ学習やフィールドワークを重ね、その年の学習発表  
会で成果を発表。大成功をおさめました。一方で、学友  
会（生徒会）でもSDGsを取り入れた活動に励んでおり、  
その取り組みは全校へと浸透しています。

**1** 年間の学習ですっかりSDGsに親しんだ生徒たち  
でしたが、2年生になった頃、「SDGsの認知度」  
に関するある調査結果を目にし、驚いたと言います。なん  
と、未だ日本人の多くが調査に対し、「SDGsという言葉  
を聞いたことがない」「聞いたことはあるが、内容はよく知  
らない」と答えていたのです。「こんなにも知らない人が

多いなんて・・・」「私たちの中では当たり前だったけど、世の中にとってはそうじゃないんだ」一日本の  
現実を知った生徒たちは、SDGsに対する認知度を上げるため、校外に向けた情報の発信に取り組み  
始めました。

**担** 任であり技術科の教師でもある高野健人先生の指導のもと、PC上で利用者の入力文にAIが自  
動で返信するプログラム「チャットボットPro」のプログラミングをグループに分かれて行いました。  
「SDGsにはいくつの目標がある?」「住みやすい街にするため、私たちができる簡単なことは?」など、

ユーザーが使いやすいものにするには?  
さらなる検証を重ねます



クイズ形式で概要を学ぶものや、動画や音声でSDGsにつ  
いて解説するものなど、さまざまなコンテンツで楽しく学ぶことが  
できるこのプログラム。「自分たちが『何』を『どう』伝えたい  
のか」にこだわり、グループごとにユーザーの使いやすさを考  
えながらプログラムの改善や修正を繰り返して完成させまし  
た。生徒たちの工夫と思いが詰まった「チャットボット  
Pro」。10班分のプログラムを搭載したPCは、2020年9月末ま  
で県立長野図書館や信濃毎日新聞長野本社など県内各地に  
設置され、多くの人々が楽しんで利用しました。

**プ** ログラミングの授業と同じグループメンバーで、それぞ  
れがアイデアを持ち寄り、話し合いながらSDGsポスター  
を作り上げました。「もっといい表現方法はないか」「どうしたら  
人の目に留まるのか」一ポスターには、生徒たちの熱いメッセ  
ージが込められています。こちらもまた県内各所に飾られ、見る  
人を楽しませました。

みんなのポスターのアイデアを  
ひとつにまとめていきます



**学** 年から全校へ、そしてついには学校の外へー。2年C組  
の活動は、大きな広がりを見せています。ある生徒は  
「自分たちに何ができるのか考えた時、いきなり世界は変えられないけれど、『自分の周囲の人が行動  
を変えるためのきっかけづくり』ならできると思った」と話してくれました。持続可能な未来に向けて、  
一歩ずつ、確かに歩みを進めています。

カラフルで目を引くポスターが  
できあがりました



個性豊かなプログラムで、  
一般の人にSDGsを学んでもらいました



※写真は信濃毎日新聞社ロービー







団体レポート

# 伊那市立図書館

伊那市荒井3417番地2 TEL:0265-73-2222



図書館内、SDGsフラッグや本とPOPでお出迎え

こんな時代だから、読んでほしい。SDGsはすべてにつながっている。



**新** 新型コロナウイルス感染予防自衛のため、2020年3月上旬から臨時休館していた伊那市立図書館。通常開館となった5月中旬から、SDGsについてのパネルや書籍などを揃えた特別展を開催しました。題して「伊那図書館でSDGsにふれてみよう!」17の目標について多くの皆さんに見て、触ってもらえるようにと、2階ホールにずらりと並べた関連の本やパネル、手作りPOP。「コロナ自衛で沈みがちな雰囲気だったので、来館者を明るくお迎えしたくて。幸いSDGsは色使いがカラフルで、明るく元気な展示になりました」と話す、伊那市職員の米持雅子さん。

**や** さしい絵本から環境や産業などちょっと難しいジャンルまで、書庫で眠っていた古い本も引っ張り出してみると、延べ500冊に。そのほとんどが17の目標のうちのどれかに当てはまったそうです。目標ごとのシールを背表紙に貼って、一堂に並べました。「SDGsを知らない人でも、ふだん興味のない本でも、手に取ってもらえたらそれだけで一歩前進」。夏休み中は本を借りた人にJICA特製の「SDGsサイコロ」をプレゼントするなど、盛り上げる工夫もいっぱい。おかげで、常に150~200冊は貸し出しをしていたそうです。世界の貧困をテーマに、伊那市ふるさと大使による「東ティモール」オンライン記念講演会やSDGs絵本講座なども開催。展示は12月まで行いました。この取り組みはどこの図書館でもヒントになることでしょう。

目につく賑やかさで「とにかく手に取ってほしい!」



本を借りてくれたみんなに、切り取って作れるSDGsサイコロをプレゼント



企業活動レポート

# セイコーエプソン株式会社

長野県諏訪市大和3-3-5 TEL:0266-52-3131 (代)



世界の紙事情を変えるかもしれない画期的技術を搭載した「PaperLab」

リサイクルでなく「アップサイクル」。古紙に新たな価値を吹き込む「乾式オフィス製紙機」



**長** 野県が世界に誇るものづくり企業・エプソンは、プロジェクターやスマートグラスなどの開発を通して電子メディアの発展に寄与しています。一方で主軸製品であるプリンター開発企業の責任として、「紙」に新たな価値を与えることも、これからの社会にとって重要な課題であると捉えています。紙のリサイクルといえば、専門業者が集めた古紙を大量の水で溶かし、繊維を取り出して再生する方法が一般的です。しかし2016年にエプソンが開発したのは、「水をほとんど使わずに」紙を繊維状に分解して再生する世界初の技術「ドライファイバートテクノロジー」。使用済みの紙を給紙トレイに入れると、3分ほどで再生紙が出来上がる「PaperLab (ペーパーラボ)」は、なんと魔法のようなマシンです。

**機** 密情報が書かれた紙でも、カラーでプリントした紙でも、オフィスにしながら「その場で」新たな紙に生まれ変わります。色を加えることができるので、紙はピンクやブルーにもなり、また紙の厚みを変えられるので、使い道はさらに広がります。エプソンでは、社員の名刺や資料などは、みなPaperLabで再生された紙を使っています。使用済みの紙に新しい価値が加わって生まれ変わるため会社では「リサイクル」でなく「アップサイクル」と呼んでいます。このPaperLabが広く普及するようになれば、オフィスの紙事情、さらには世界の紙事情も劇的に変わるかもしれません。

繊維状に分解された古紙。ふわふわとまるで綿(わた)のよう



県内外から子どもたちが見学に訪れます





地球上のすべての人に  
プレゼント(人権と平和)が  
届きますように。



10年後の魚たちも  
元気に泳げる海であるように。



ぼくのポスターでゴミが減り、  
海がきれいに  
少しでもなしてほしい。



レジ袋をマイバッグへ・食品ロスをなくす・  
募金をする・マスクをする・手洗い・  
海などの自然を大切に



気候変動の対応、紛争を終わらせ、  
農作物が育てられる環境にする。



自分の食べられる分だけ盛る・すぐに電気を消すくせを  
つける・洗剤を少しにして水を後にする・少ない水で  
水がキレイになる・必要以上に環境破壊しない  
ホットスポットを増やしていく・緑を増やす



排気ガスを減らそう



今、このようなことが  
まだ止められると思ったから。



歯磨きの時に使う水の量を  
コップにためて使う・風呂の水を  
洗たくに使用する



世界的な問題から身近な問題まで  
SDGsに関する課題は様々。  
自由研究の取り組みを通して、  
たくさんの生徒さんたちが課題に向けて  
様々な解決方法を考えてくれました。

自分が食べられるだけもらおう



プラゴミなどを減らして、環境にとてもいい  
生活などしてほしいと思い作りました。  
願いは、少しでもいいからゴミを減らして、  
生き物や自然の物を大切にしてほしいことです。



「誰も置き去りにしない」という  
メッセージが1人1人の心に残って  
ほしいという願いを込めました。



もうこれ以上プラゴミを出したら  
地球がプラゴミだらけになりそうだから、  
「エコバッグを使ってください」という  
ポスターを作りました。



初めから数をへらし、  
今たりていない国などに  
お金として寄付する



ゴミのポイ捨てについての看板を立てる・  
運転手の人たちにポイ捨てを  
しないように手紙などをわたす。



食べられる量だけに  
→ あまってすてる事がないように







「4つのR」にもとづいた  
「新聞エコバッグ」で環境問題を考える

再生紙を使用した新聞エコバッグで“本当にエコ”なレジ袋削減を目指します

生徒会執行部が生徒の席をまわり、作り方を教えます



**文** 化学園長野中学校では、昨年度より「SDGsに関するイベントに積極的に参加しよう!」を合言葉に、講演会や座談会の開催をはじめ、さまざまな国の文化が体験できる長野市主催のイベント「ワールドフェスタ」への参加などを通じて、SDGsへの理解を深めてきました。

**今** 年度は7月から全国で始まった「レジ袋有料化」を受け、「レジ袋削減」をテーマに設定。自然の中で分解されず、海にはジェット機5万機分が沈んでいると世界的な問題になっている「プラスチックごみ」を減らすため、コットン素材のエコバッグの制作・販売を計画しました。しかし視点を改めて調べてみると、原料の生産には広大な土地や農薬が必要となり、森林伐採や土壌汚染など、地球にとってかえって悪影響となることが分か

来たるワールドフェスタに向け改良を重ねます



りました。コットン素材のエコバッグを生産し処分するまでにかかる環境への負荷は、レジ袋2万枚を生産し処分するのと同様という研究結果もあるそうです。「はたしてコットンエコバッグは本当にエコなのか?」疑問を感じた生徒たちがたどり着いた答えは「4つのR」でした。「4つのR」は、日本各地の自治体で推進される、ごみを減らすためのキーワード。

- ①リフューズ (Refuse) …「いらない」と断る
- ②リデュース (Reduce) …ごみを減らす
- ③リユース (Reuse) …繰り返し使う
- ④リサイクル (Recycle) …再資源化する

この考え方を活動の柱に置き、生まれたアイデアが「新聞エコバッグ」です。「リサイクル」で作られた新聞紙を「リユース」することにより「リデュース」が叶えられるこのアイデア。全校一丸となって制作し、9/12 (土) 開催のワールドフェスタで、ショッピングバッグとして無料配布することになりました。

**1** 学期の終業式後には、活動の中心である生徒会執行部が全校生徒に新聞エコバッグの企画主旨を説明し、作り方をレクチャーしました。生徒会長は、夏休みを使ったエコバッグ制作への協力を仰ぐとともに「実際に使ってみてほしい」と生徒たちに呼びかけました。「こういうものがあるんだ」と周知させるため、そしてエコバッグの強度や使い心地を調べ、改良していくためです。また、8/3 (月) にはワールドフェスタ開催に向けた打ち合わせに参加。開催実行委員をはじめとした大勢の大人の出席者の前で、環境問題の深刻さと新聞エコバッグのメリットについてプレゼンするとともに、新聞紙の提供を呼びかけました。

**ワ** ルドフェスタ当日は、生徒全員が「エコバッグづくり体験レク係」と「配布係」の二手に分かれて参加。配布したエコバッグを実際に使ったお客さんが「使いやすい!」ともう1枚もらっていたり、体験ブースに作り方を教わりに来たりと大好評でした。

**S** DGsを他人事ではなく、自分事として考えて行動に移すこと。物事を多面的に捉えた上で問題の本質を考えること。生徒たちが今後持続可能な未来に向き合う上で重要な学びとなったことでしょう。

NSPの広告紙面もエコバッグに!



コロナ対策のもと、イベントは大盛況に終わりました







団体レポート

# まつもと子ども未来委員会

松本市丸の内3-7 TEL:0263-34-3291 (こども部・こども育成課)



松本市が抱える課題についてグループごとに話し合います

未来をつくる子どもたちが、地域課題の解決に取り組む



団体レポート

# ながの環境エネルギーセンター

長野市松岡二丁目27番1号 TEL:026-222-5301



「緑の海に浮かぶサステイナブル Eco Ship」がコンセプトの建物

ごみから生まれるエネルギーが、地域や人を支える



**県** 内で初めて「子どもの権利に関する条例」を制定した松本市では、子どもたちが学校や地域、年齢の壁を越えてまちづくりに参加できる場をつくるため「まつもと子ども未来委員会」を立ち上げ、活動しています。参加者は松本市内在住・在学、または市内で活動している小学5年生～高校3年生までの子どもたち。発足から6期目を迎える今年度は、委員16人で「松本市のPR」や「環境問題」、「校則の見直し」、コロナ禍の振り返りとこれからについて考えます。

**8** 月3日(月)には市内見学を実施。旧開智学校の校舎を見学し、今よりも子どもが多く、就学率が低かった当時の様子や、現代の校則との違いなどを学びました。その後の委員会では、今まで学んできたことをメンバー同士で共有しながら、パワーポイントやパンフレットにまとめ、活動の締めくくりとして11月21日(土)開催の市民フォーラムで、松本市長をはじめ来場者に向け発表を行いました。委員長の橋本さん(中学2年)は、「毎年違うテーマで活動するので、松本のいろいろな顔が見えておもしろいし、自分たちの行動や意見が課題の改善に生かされているのが嬉しい」と、輝く瞳で語ってくれました。

**緊** 急事態宣言により一時活動が危ぶまれたまつもと子ども未来委員会ですが、委員からの提案で活動の自粛期間中にも医療従事者へ感謝状を贈呈するなど、「よりよい松本市」を生み出すため

21 に自ら積極的に動くことができる子どもたちがすくすくと育っています。

旧開智学校を見学。学芸員の方のお話を真剣に聞きます



昔の校則には、「朝起きたらまず着替えをする」など家での行動についても書かれていました



**皆** さんは自分の出したごみが、その後どうなるか知っていますか？長野市を含む6市町村から出た可燃ごみを処理しているのが、ながの環境エネルギーセンター。ごみをただ燃やすだけでなく、ごみからエネルギーをつくりだす施設へと進化しています。エネルギーの素となるのは、ごみを燃やす時に出る「熱(蒸気)」。蒸気でタービンを回して作られた電気は、施設で使用する他、長野市立の小・中・高校の計80校や福祉施設にも供給し、電力の「地産地消」を実現しています。また、熱の一部は熱交換を行い、隣接するプール「サンマリーンながの」に供給されます。このようなごみを使った「廃棄物発電」は今、地球温暖化対策の一つとして注目されています。

**さ** らに、ごみを燃やした後の灰を溶かした「スラグ」を土木資材などに活用することでごみの最終処分量を減らしたり、ダイオキシンなどの有害物質を分解して適切に処理したり、環境に配慮した工夫が徹底されています。「金属など不純物が多ければ有害物質が多く発生し、排ガスの処理が大変になるうえ、発電の効率も下がるんですよ」所長の森山さんの言葉から、市民一人ひとりのごみ分別の大切さがよくわかります。その他、職員の地元採用や地元企業への仕事の発注、地域の子どもの環境問題を学ぶ機会の提供など、地域のことも配慮しながら、サステイナブルな未来を目指します。

ごみを攪拌したり焼却炉へごみを投入するクレーンバケット(実物大模型)



楽しみながら学べる見学施設(左)。見学した小学生からたくさんのメッセージが届きます(右)





# 出前授業でたくさんの反響を頂いています

NAGANO SDGs PROJECTでは多くのSDGs出前授業を実施しており、  
今年もたくさんの学校に参加していただきました。

世界の課題を知った、私たちができることを考えた…出前授業からたくさんの気づきを得られたようです。  
ここではそんな出前授業を受けた生徒さんたちのアンケートを一部ご紹介します。



**世** 界が抱える問題が想像以上に大きいことを知り、全ての人々が一致して問題を解決していく必要性を感じました。(長野盲学校)

**自** 分達は、たくさん勉強させてもらっているけれど、ぼんやりとしては受けさせてもらっている意味がない。他の国の人たちに顔向けができるよう頑張らなくてはいいと思いました。(飯田高等学校 1年)

**新** 聞作りを通して、今の世の中の課題を見つけることができよかったと思う。SDGsの17つの目標を2030までに達成できるよう、自分たちでできることを考えて行動していきたいと思う。(宮田村立宮田中学校 1年)

**村** の中で、SDGsに関することをやりたい。(宮田村立宮田中学校 1年)

**世** 界で起きている様々な問題を知って解決しなきゃいけないことはたくさんあるなと思った。他人事ではなく、次の世代のためにも頑張りたい。(中野市立高社中学校 1年)

**今** 日の授業を通して、世界中にはまだまだたくさんの不平等な生活を送っている人がいると思った。特に、5秒に一人5歳未満の子どもが、栄養失調で亡くなっていることに驚いた。この授業を受けて、自分にもSDGsに関することができるのであればいいと思った。(中野市立高社中学校 1年)

**17** の目標をもとにすごろくで学んで、地球を守るためや、格差をなくすためにSDGsの活動は大事なんだな、と思った。(上市市立菅平中学校)

**コ** ロナウイルスが世界になるべく広がらないようにGOALS世界を変えるための17の目標を考えていきたい。(上市市立菅平中学校)



**先** 進国として、途上国を引っ張ってだけでなく、先進国ができていないことを途上国から学ぶということの大切さが分かった。人と人、国と国で互いに協力していきけるような社会作りが、今、もっとも大切だと思った。(飯田高等学校 1年)

**1** 人が行動することで、流れを良い方向にも悪い方向にも変えることができる。他人がしているから自分もしていい！こんな思いが数百、数千集まることで簡単に人を傷つけるし、こんな凄いことをしている他人がいた！自分もしよう！という思いが集まれば、SDGsの達成につながると思った。この世界には沢山の人がいるので、助け合って生活することが必要だと思った。(長野市立櫻ヶ岡中学校 3年)

**私** たち人間が自ら問題を作り、なぜかそれを解決しようとしている。普通に考えたらおかしい事だなと思った。でもこの問題に困っているという事は、これらを解決しないと私たちは生きていけない。今、自分たちができることをしっかりやっつけていけば、安心、安全、健康な毎日が送れるなと思った。(長野市立櫻ヶ岡中学校 3年)

**自** 分達は関係ないではなく自分達がいかに関わられるかが大切だと思った。まだまだ地球には幸せではない人がいるという事も分かったので、「自分事として、次世代のために」頑張りたいです。この講演を聞いて思ったことは、僕みたいなちっぽけな人間が少し頑張ればほんの少しでも人を救えるということです。これを思った時、たまたま嬉しかったです。(長野市立長野中学校 2年)

**1** つ1つの課題を解決するにははすくにはできないと思う。だからこそ、1人1人が手を取り、誰ひとり取り残さない地球を作っていきたい。私は、地球みんながSDGsのグループに入っていると思う。自分良ければそれでよしではなく、誰かのため、人のために役に立つことをしたい。(長野市立長野中学校 2年)

**1** 番印象に残ったのは海に捨てられるプラスチックゴミが魚の量を超えるかもしれないということです。そんなことが起きてしまえば海の魚はますます減って困ると思いました。SDGsという言葉は初めて聞いたけど説明してもらったことを意識して生活して2030年までに達成できるように少しでもなにか出来たらいいなと思いました。(佐久平総合技術高等学校 2年)

**未** 来における世界中の人々の苦しみを無くし、地球の環境を改善するなどの今の人類の課題を詳しく説明してもらって、僕自身もプラゴミの排出を少なくして、残飯をださずにきちんと食べきるなどのまず自分の出来る事から行動に移したいと思いました。(佐久平総合技術高等学校 2年)

**自** 分の地域を愛することが大切だと思った。(下諏訪向陽高等学校 1年)



**自** 分の考えなどをSDGsと組み合わせ、楽しく考えることができ良かったです。これから自分達にできることをSDGsと関連して考えていきたいと思いました。SDGsを知らない人に伝えられるように、もっとSDGsについて学びたいと思いました。(南牧村立南牧中学校 2年)

**自** 分達で南牧にSDGsを広めたい。(南牧村立南牧中学校 2年)

**ま** だまだ達成できていないSDGsがたくさんあるから、それを達成していくために、残食は絶対にしたくない。今できている生活が、当たり前だと思わず、感謝して生活していきたい。(茅野市立永明中学校)



**も** っと視野を広げて、世界の達成できている国とかお手本にして協力し合えば、今達成できていないものも達成できると思いました。一人ひとりが世界のために少しでも頑張ることが達成に繋がり、世界中の人が笑顔になれる時も近づくと感じます。(茅野市立永明中学校)

**今** 、地球が危険な状態であることを改めて感じました。今は、大人の人などが、呼びかけていますが、これからの未来は、私たちが大人になって、もっと大変な未来を支えていかなければならないと思ったので、今日、SDGsについて聞いて良かったし、SDGsに興味を持つことができました。(飯田市立飯田東中学校 2年)

**授** 業前は世界規模だから、自分一人が何かしても何一つ変わらないと思っていました。しかし、すごろくを通して、自分にできる事を考えるうちに、ほんの小さな心がけで、たくさんの人が幸せになることがわかってきました。たくさんの友達の考えを聞いて、今日からでもできるんだな。(飯田市立飯田東中学校 2年)

**ゲ** ームを通して良い街づくりをすることの大変さや多くの人たちが協力していかないとSDGsの解決につながらないことも知ることができた。(第一学院高等学校)

**自** 分に住んでいる町の課題について考える機会がなく、考えたことがなかったけど、今の町に目を向けて小さな課題からでも解決していくことが大切だし、必要なんだと思った。(下諏訪向陽高等学校 1年)

**全** 員で協力しながら、地域の活性化にはどのような事をすればいいのかがわかった。(第一学院高等学校)

## 2020年度出前授業一覧

- JICA国際協力出前講座 JICA東京
- 2x2バトル  
どのSDGsが当てながらアイデアを考えよう  
諏訪SDGs教育ゲーム開発チーム
- SDGsの見方で、すごろくを作って遊び、活動を17の目でみつめよう  
諏訪SDGs教育ゲーム開発チーム
- 長野発SDGs実現のためのアクションを起こしているNPO紹介  
特定非営利活動法人長野県NPOセンター
- SDGs de 地方創生ワークショップ  
特定非営利活動法人長野県NPOセンター
- SDGsと途上国の教育・ジェンダー不平等の問題について理解を深めよう!  
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
- NGOスタッフと考えよう  
SDGsの達成と世界の課題(各ゴール編)  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- わたしたちとSDGsをつなげ、「わたしの2030アジェンダ」をつくってみよう  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 世界の子どものストーリーからSDGsについて考えよう  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 15年前と15年後の世界から、SDGsが目指す未来を考えよう  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- みんなでネイチャーウォッチング！  
大自然からSDGsを学ぼう！  
長野県鳥川溪谷緑地 環境管理事務所
- 新聞から身近な課題を見つけ、将来を展望しよう  
信濃毎日新聞社

2021年度も様々な出前授業をご用意いたします。  
ぜひ活用ください！  
各出前授業の詳細については公式WEBサイトをご覧ください。

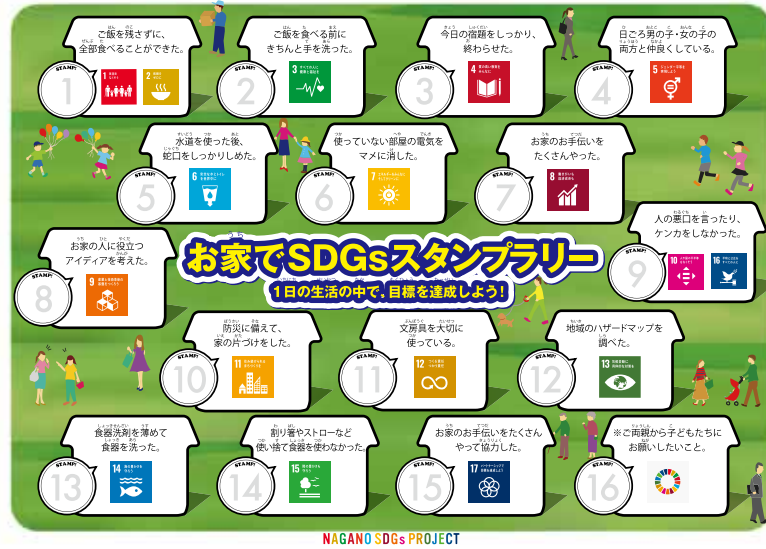
長野SDGsプロジェクト | 検索

# 学校で、お家でやってみよう！ オリジナルコンテンツ

NAGANO SDGs PROJECTでは誰でもSDGsについて考え取り組めるよう、オリジナルコンテンツも開発しています。「誰でも楽しく取り組める」ことを目指した教材です。ぜひダウンロードしてくださいね。

## お家でSDGsスタンプラリー -1日の生活を通して、目標を達成しよう-

お家の中にもたくさんのSDGsがあります。毎日の生活の中でできることを一覧にまとめ、取り組んでみよう！取り組んだらお家の人々がチェックしてスタンプを押してあげましょう。



## みんなのSDGs大作戦! -いろいろな立場からSDGsを考えよう-



課題カードの内容をもとにみんなでディスカッション、解決策を出し合いながら得点を競います。SDGsは私たちの日常につながっていることを実感してみてください。

NAGANO SDGs PROJECTオリジナルコンテンツは公式WEBサイトからダウンロードいただけます。

長野SDGsプロジェクト | 検索

# NAGANO SDGs PROJECTは 下記企業スポンサー様のご支援をいただいで運営しています

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

SMBC日興証券

キッセイ薬品

EPSON  
EXCEED YOUR VISION

大和証券  
Daiwa Securities

中部電力ミライズ

野村證券  
それ、野村にきいてみよう。

快適と健康を科学する  
ホクシンハウス

食育と給食道で! 四男!へ発信  
株式会社ミールケア

ECTM 総合環境企業  
ミヤマ株式会社

あいおいニッセイ同和損保  
MS&AD INSURANCE GROUP

CareerTrusting

炭平コーポレーション株式会社  
S U M I H E I

TAKAMISAWA  
株式会社 高見澤

中外印刷株式会社  
Graphic Arts

Shin-Etsu Group  
長野電子工業株式会社

fujikoshi  
Machinery Corp.

IIKEN HOUSE

株式会社岩野商会

ABLE DESIGN

co-op コープながの  
食卓を笑顔に、地域を豊かに。

信州ハム

あなたの未来を一緒に  
住友生命

SEKISUI HOUSE

SECOM セコム上信越

一生運のパートナー  
第一生命

高沢産業

はたらく人の思いを生きる  
長野ろうさん

We Find the Way  
日本通運  
NIPPON EXPRESS

JT 日本たばこ産業株式会社

VEX デザイン＆プランニング  
株式会社ピーククス

IZUMI  
マクセルミズミ株式会社

丸の内ビジネス専門学校  
Marunouchi College of Business

MISUZU 株式会社みすずコーポレーション

MIZUHO  
みずほフィナンシャルグループ

株式会社守谷商会

ながのアド・ビューロ

今後も長野県内の多くの方々にSDGsを知り、行動していただくためにも皆様のご協賛が必要です!

協賛サポーターの詳細については公式WEBサイトをご覧ください。

長野SDGsプロジェクト | 検索

主催 長野SDGsプロジェクト実行委員会  
[長野県、(一社)長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、(一社)長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、(一社)長野県環境保全協会、信濃毎日新聞社]

企画/運営 (株)ながのアド・ビューロ

協賛自治体 安曇野市、飯島町、飯綱町、飯山市、生坂村、池田町、伊那市、上田市、王滝村、大町市、岡谷市、小谷村、小布施町、麻績村、軽井沢町、木島平村、木曾町、小海町、駒ヶ根市、小諸市、坂城町、佐久市、佐久穂町、塩尻市、信濃町、下條村、下諏訪町、須坂市、諏訪市、高山市、筑北村、千曲市、茅野市、東御市、豊丘村、中川村、中野市、長野市、長和町、南木曾町、白馬村、原村、富士見町、松川町、松川村、松本市、南箕輪村、箕輪町、宮田村、山形村、山ノ内町